

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方
方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

パーパス・マテリアリティ

SOMPOのパーパス

“安心・安全・健康のテーマパーク”により、
あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する

SOMPOが社会に提供する価値	マテリアリティ(パーパス実現に向けた重点課題)	SOMPOが目指す社会/実現する姿
 <p>社会が直面する 未来のリスクから 人々を守る</p>	あらゆるリスクに対する備えの提供	 <p>保険の進化により、気候変動、感染症、サイバー攻撃などの ニューリスクからも守られ、安心・安全に過ごせる社会</p>
 <p>健康で笑顔あふれる 未来社会を創る</p>	事故や災害を未然に防ぎ、レジリエントな社会に貢献	 <p>予兆把握と未然防止によってリスク自体が抑制され、 被害が最小化されている社会</p>
 <p>多様性ある人材や つながりにより、 未来社会を変える力を育む</p>	経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献	 <p>人と自然が調和した包摂的でレジリエントな カーボンニュートラル社会</p>
	健康と笑顔を支えるソリューションの提供	 <p>支えられる人が、いつまでも自分らしく自立し、 健康で笑顔あふれる人生を過ごせる社会</p>
	持続可能な高齢社会への貢献	 <p>少子高齢化社会を支える人の負担が軽減され、 夢の持てる社会</p>
	未来社会を変える人材集団の実現	 <p>多様性ある人材からイノベティブなソリューションが創出され、 未来社会を変える力が保たれている組織</p>
	価値創造に向けたパートナーシップのプラットフォーム構築	 <p>事実・データにもとづくイノベーション創出により、高齢社会を 支える側・支えられる側、双方にとって豊かな人生を提案する組織</p>

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方

方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

パーパス・マテリアリティ

マテリアリティ特定プロセス

考え方・方針 **活動・実績**

当社グループが有する強みやリソースからどんな社会課題に向き合い、どんな価値を提供していくのかについて徹底的に議論し、パーパス実現に向けた重点課題として7つのマテリアリティを特定しました。なお、マテリアリティは社会課題や当社グループの事業戦略の変化、ステークホルダーからの要請などをふまえて、年に1度分析を行い変更要否の確認を行っています。

【プロセス1】社会課題の抽出

GRIスタンダードやISO26000、国連グローバル・コンパクトなどの国際的なガイドラインをもとに当社グループに関係のある社会課題を網羅的に洗い出しました。洗い出した社会課題をパーパス実現に向けた当社グループの戦略・アクションと照合し、当社グループが検討すべき重要性の高い社会課題を抽出しました。

【プロセス2】優先順位づけ

プロセス1で抽出した社会課題に対し、「ステークホルダーへの影響度」と「当社グループにとっての重要度」の視点で重要性を評価し、SDGsターゲットとの関係性もふまえ、優先順位づけを行いました。

重要性評価の基準

- **ステークホルダーへの影響度**：投資家や有識者、株式保有先企業へのESGアンケート、NGOなどとの対話を行い、当社グループがステークホルダーに与える影響度を評価。
- **当社グループにとっての重要度**：当社グループの経営戦略や事業活動に与える正または負の影響によって、当社グループにとっての重要度を評価。

ステークホルダーとのダイアログ

ステークホルダー・エンゲージメントは、社会的な課題を認識し信頼と協働関係の構築を通じて、より大きな成果を生み出すための重要な取り組みであると考えています。

2021年のマテリアリティの見直し時には、日本経済団体連合会SDGs本部副本部長*・長澤恵美子氏、日本サステナブル投資フォーラム会長*・荒井勝氏と、ステークホルダーから期待され要請されるものは何か、マテリアリティやKPIの妥当性、社内への浸透などさらなる高度化に向けて、対話を行いました。

*肩書は対話当時のものです。

2023年度の社会課題マッピング

↑ ステークホルダーへの影響度	<ul style="list-style-type: none"> • ガバナンスの機能発揮 • 腐敗防止 	<ul style="list-style-type: none"> • お客さまサービスの品質向上 • 循環型社会への貢献 • 生物多様性の保全・自然共生社会実現への貢献 • サステナブル・ファイナンス(保険引受・商品開発/投融資)の推進 • バリューチェーンにおけるESG配慮 • 人間尊重・人権リスクへの適切な対応 • コンプライアンスの遵守 	<ul style="list-style-type: none"> • カーボンニュートラル社会への貢献 • 金融包摂・あらゆる人々への保険の普及 • 従業員エンゲージメント向上 • 組織のイノベーション力向上 • ダイバーシティ&インクルージョンの推進 • 健康経営の推進 • 自然災害にレジリエントな社会への貢献 • 人材投資(生涯教育・リカレント教育) • 人的資本への投資
	<ul style="list-style-type: none"> • 公平性・有用性が高く正確・迅速でわかりやすい情報開示 • プライバシーの保護 	<ul style="list-style-type: none"> • ERMの高度化 • 次世代育成(防災教育・交通安全教育等) • 地域活性化に向けた地域創生支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 健康寿命の延伸 • 持続可能な社会保障制度への貢献 • 安心・安全な次世代モビリティ社会への貢献 • データ社会への対応
		<ul style="list-style-type: none"> • 感染症との共生 • 国際情勢の不安定化に対するレジリエンス向上 • サイバーセキュリティのレジリエンス向上 • 文化・芸術の振興 • 価値観・行動変容に則した商品・サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> • スマート社会への貢献 • 災害弱者への支援 • 持続可能な食糧供給への貢献 • 変革に向けた多様なステークホルダーとの共創

→ 当社グループにとっての重要度

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方
方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

パーパス・マテリアリティ

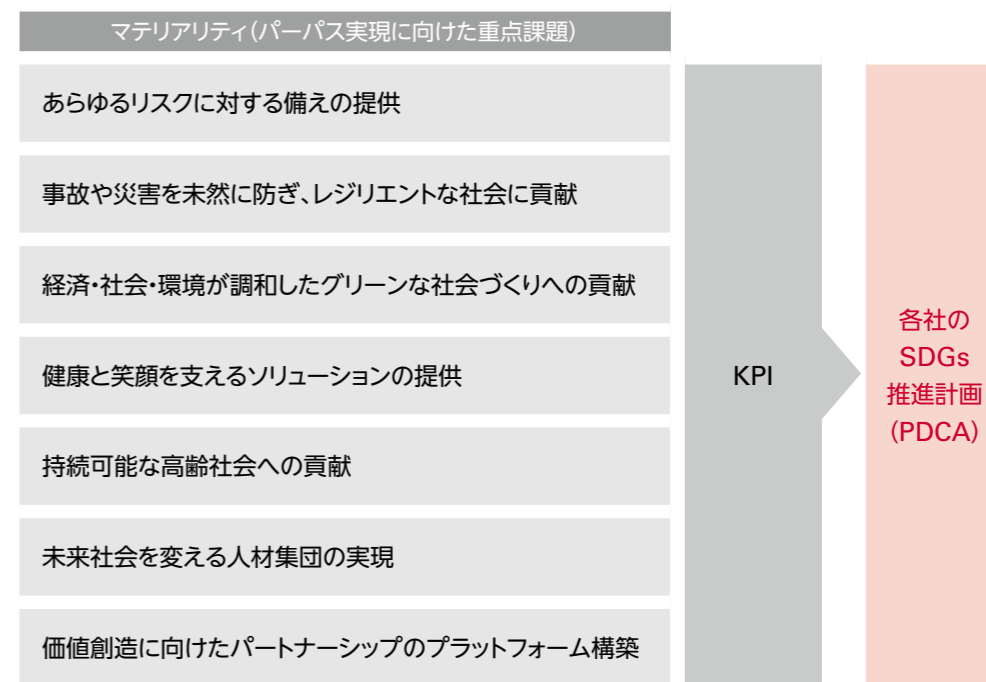
【プロセス3】マテリアリティとKPIの設定

プロセス2で特定した優先的に取り組む社会課題に対し、当社グループが経営戦略上どのようにアプローチするのかという視点から整理・統合し、パーパス実現に向けた重点課題として7つのマテリアリティに体系化しました。

それぞれのマテリアリティにKPIを設定し各事業・各社の推進計画にも反映することで、取組みの進捗の可視化や課題把握を行うなど、実効性の高いPDCAサイクルを構築しています。

経営レベルでの議論と承認・報告プロセス

経営執行協議会（MAC）での議論を経て、グループCOO（取締役）の承認を得ました。MACの議案については取締役会に報告しました。（2021年度）



編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方

方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取り組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

パーパス・マテリアリティ

マテリアリティKPI

考え方・方針 活動・実績

パーパス実現に向けた重点課題を7つのマテリアリティに体系化しただけでなく、必要なアクションの明確化や現場への浸透・進捗把握を行うためにそれぞれのマテリアリティにKPIを設定しています。マテリアリティKPIを指標に各事業や現場が日々挑戦することはもちろんですが、グループの取組みの進化や戦略に応じた見直し・拡充更新も行っています。2023年は4月にローンチした「egaku」事業に関連するKPIを新たに設定するなどの変更を行いました。財務だけでなく非財務も含めた指標を定義し、共通のフレームワークを推進することで、パーパス実現に向けてグループ一体で取り組みを進めていきます。

★2023年度に追加したKPI

マテリアリティ	マテリアリティの小区分	マテリアリティKPI		2022年度実績		貢献する主なSDGsターゲット			SOMPOが目指す社会/実現する姿
		KPI項目	数値目標	実績値	達成状況(単年度目標)				
あらゆるリスクに対する備えの提供	金融包摂:あらゆる人々への保険の普及	国内の正味収入保険料(保険の普及への貢献)	2021年度19,886億円、2022年度20,553億円、2023年度20,799億円	20,793億円	達成	1.4	8.10	11.b	保険の進化により、気候変動、感染症、サイバー攻撃などのニューリスクからも守られ、安心・安全に過ごせる社会
		海外の総収入保険料(保険の普及への貢献)	2021年度+7.9%、2022年度+7.1%、2023年度+6.9% ※米ドルベース	+11.3%増収	達成	1.4	8.10	13.1	
		生命保険の保有契約件数(保険の普及への貢献)	2021年度443万件、2022年度472万件、2023年度500万件	471万件	未達成	1.4	3.4	8.10	
		あらゆる人々への病気・ケガへの備えに資する保険商品(重点販売商品)の販売件数・保険料	対前年比増加	対前年度比増加(実績+2,890件、+5.0億円)	達成	3.3	3.4	8.10	
	持続可能な食糧供給への貢献	[AgriSompo]による農業保険の事業対象国の拡大	2023年度までに対象国数を増加	—	単年度目標なし	1.5	2.4	13.1	
事故や災害を未然に防ぎ、レジリエントな社会に貢献	自然災害にレジリエントな社会への貢献	自然災害の保険金支払に関するお客さま満足度	対前年比改善	対前年度比+1.6ポイント	達成	1.5	11.b	13.1	予兆把握と未然防止によってリスク自体が抑制され、被害が最小化されている社会
		気候変動への適応・緩和に資する商品・サービスの開発	開発実績を随時公表	各種開示物掲載	単年度目標なし	1.5	13.1	13.3	
		安心・安全な次世代モビリティ社会への貢献	対前年比増加	対前年比増加(実績+324,220件、+15.4億円)	達成	3.6	8.10	11.2	
		自動車事故の保険金支払に関するお客さま満足度	対前年比改善	対前年度比▲0.8ポイント	未達成	3.6	8.10	11.2	
	安心・安全な次世代モビリティ社会への貢献	防災や交通安全教育の参加人数	2021年度15,000人、2022年度18,000人、2023年度20,000人	17,963名	未達成	3.6	4.7	11.b	
経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献	サステナブル・ファイナンス(保険引受・商品開発/投融資)	サステナビリティ関連のイニシアティブ・ルールメイキングへの参画・活動	活動実績を随時公表	各種開示物掲載	単年度目標なし	9.4	11.4	13.3	人と自然が調和した包括的でレジリエントなカーボンニュートラル社会
		投融資先エンゲージメント数	対前年度比増加	対前年度比減少	未達成	7.a	9.4	13.a	
		自社の温室効果ガス(GHG)削減率	2030年60%削減(2017年比)、2050年実質排出ゼロ ※スコープ1,2,3(投融資を除く)が対象	239,554tCO ₂ e	単年度目標なし	7.2	12.8	13.2	
		使用電力の再生可能エネルギーへの切り替え	2030年導入率70%	5.1%	単年度目標なし	7.2	12.2	13.2	
		投融資の温室効果ガス(GHG)削減率	2025年25%削減(2019年比)、2050年実質排出ゼロ ※スコープ3カテゴリー15が対象	2021年度 株式931,821tCO ₂ e 債券909,893tCO ₂ e	単年度目標なし	7.a	12.8	13.2	
		生物多様性保全活動・環境教育への参加人数	2021年度11,500人、2022年度9,000人、2023年度10,500人	9,472人	達成	4.7	13.3	14.1	
健康と笑顔を支えるソリューションの提供	健康寿命の延伸	Insurhealth®販売件数	2021年度末30万件/2022年度末46万件/2023年度末42万件	44万件	未達成	1.4	3.4	8.10	支えられる人が、いつまでも自分らしく自立し、健康で笑顔あふれる人生を過ごせる社会
		Insurhealth®保有件数	2021年度末60万件/2022年度末113万件/2023年度末130万件	110万件	未達成	1.4	3.4	8.10	
		Insurhealth®商品の販売占有率	2021年度末60%/2022年度末70%/2023年度末80%	74%	達成	3.4	3.a	8.10	
		マイリンククロス会員数	2022年度70万人/2023年度100万人	77万人	達成	1.4	3.4	8.10	
		社名認知度	2021年度末60%/2022年度末70%/2023年度末70%	56.8%	未達成	3.4	3.a	8.10	
		健康イメージ	SOMPOひまわり生命の生命保険業界での順位 2021年度末5位、2022年度末3位、2023年度末1位	8位	未達成	3.4	3.a	8.10	
		認知症予防プログラム展開事業所数	2021年度38件、2022年度82件、2023年度194件	133件	達成	3.4	5.4	10.2	
		保健指導事業の売上高	2021年度3,519百万円、2022年度3,881百万円、2023年度4,039百万円	3,693百万円	未達成	3.4	3.5	4.7	
		メンタルヘルスサービスの売上高	2021年度1,485百万円、2022年度1,619百万円、2023年度1,764百万円	1,600百万円	未達成	3.4	8.8	4.4	
		スマートコミュニティのProof of Concept件数・スマートコミュニティ事業売上高	2021年度10件、2022年度10件、2023年度0.2億円(事業化初年度売上高)	9件	未達成	3.4	11.3	3.d	



★2023年度に追加したKPI

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方

方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

マテリアリティ	マテリアリティの小区分	マテリアリティKPI		2022年度実績		貢献する主なSDGsターゲット			SOMPOが目指す社会/実現する姿
		KPI項目	数値目標	実績値	達成状況(単年度目標)				
持続可能な高齢社会への貢献	持続可能な社会保障制度への貢献	未来の介護モデルの導入施設数	2021年度28件、2022年度73件、2023年度180件	37件	未達成	1.3	3.4	8.8	少子高齢化社会を支える人の負担が軽減され、夢の持てる社会
		介護施設の入居率	2021年度90.8%、2022年度92.9%、2023年度94.8%	92.3%	未達成	1.3	3.4	10.2	
		介護利用者数	2021年度9万人、2022年度9.4万人、2023年度10万人	9.2万人	未達成	1.3	3.4	5.4	
		介護職の離職率	2021年度11.4%、2022年度11.0%、2023年度11.4%	11.7%	未達成	1.3	3.4	8.5	
未来社会を変える人材集団の実現	従業員エンゲージメント向上	従業員エンゲージメント	2023年度までにGallup Q12の平均得点 (国内)3.70pt (海外)4.10pt	(国内)3.50pt (海外)4.12pt	単年度目標なし	4.4	8.2	9.6	多様な人材からイノベティブなソリューションが創出され、未来社会を変える力が保たれている組織
		MYパーパス研修受講率	2023年度までに全対象者が受講完了(当社および国内グループ会社)	90%	単年度目標なし	3.4	4.4	8.2	
	健康経営 [®] 、人間尊重・人権リスクへの適切な対応	テレワーク率	グループ全体で50%以上 ※介護現場などは対象外	43%	未達成	4.4	5.4	9.6	
		健康経営 [®] に関連する生産性指標(WLQ)	各社において対前年度比改善	93.5%	未達成	3.4	4.4	8.8	
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	女性管理職比率	2023年度末30% (2024年4月1日時点)	28.1% (2023年4月1日時点)	単年度目標なし	5.5	8.2	10.2	
		障がい者雇用率	2023年度末2.5% (2024年4月1日時点)	2.36% (2023年4月1日時点)	単年度目標なし	4.4	8.2	10.2	
	人材投資(生涯教育・リカレント教育)	ジョブ型人事制度へのシフト	2023年度までに各社においてジョブ型制度の実現	SOMPOホールディングスではジョブ型雇用を担当層にまで拡大	単年度目標なし	8.2	8.5	9.5	
		デジタル人材育成・獲得数	2023年度までにDX専門人材177名、DX企画人材(a)DX基礎研修受講完了者4,000名、(b)AI企画者・データ活用・CXアジャイル・デザイン研修受講者3,000名、DX活用人材研修受講者17,100名	DX専門人材69名、DX企画人材(a)DX基礎研修受講完了者4,173名、(b)AI企画者・データ活用・CXアジャイル・デザイン研修受講者1,797名、DX活用人材研修受講者17,281名	単年度目標なし	4.4	8.2	9.5	
		リアルデータプラットフォーム(RDP)活用によって創出するグループの売上高	5,000億円(中長期目標)	2023年度より「egaku」を事業化	単年度目標なし	3.4	9.5	17.16	
	価値創造に向けたパートナーシップのプラットフォーム構築	データ社会の促進	リアルデータプラットフォーム(RDP)活用商品・サービスの販売・収益化	2023年度末までに2事業以上	2023年度より「egaku」を事業化	単年度目標なし	3.4	9.5	
★介護RDP(「egaku」)の展開事業所数			2023年度100事業所へ展開	—	—	3.4	8.5	9.2	
★介護RDP(「egaku」)の営業利益			2030年度100億円	—	—	3.4	8.2	9.2	
★介護RDP(「egaku」)が創出する社会インパクト			2040年度3.7兆円(22万人の介護需給ギャップの解消)	—	—	1.3	3.4	8.5	
(マテリアリティ共通)		パートナーシップKPI パートナーシップの増加 ①対外公表した協業・提携件数 ②協業・提携によるProof of Concept/実証実験などの件数 ③協業・提携によって提供したソリューション数	—	①112件 ②41件 ③51件	—				

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方

方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

サステナビリティ推進体制

推進体制

体制

当社では、パーパス実現に向けたグループ全体の戦略や方針に基づき、執行役および執行役員が対策を実行し、その遂行状況を取締役会が監督する体制を構築しています。

サステナビリティ領域の最高責任者であるグループCSuO (Chief Sustainability Officer) は、グループのサステナブル経営に関する戦略を策定・実行し、グループ全体のサステナビリティ機能を統括する役割を担っています。

推進体制としては、「グループサステナブル経営推進協議会」(以下「協議会」)をグループ全体のサステナビリティの推進母体として位置づけています。協議会では国内・海外の主要4事業のCSuO・CSOなどがメンバーとなり、気候変動をはじめとするESG課題の協議・意思決定を行っています。

また、マテリアリティやそのKPIをふまえて各社が策定する実施計画についても、その進捗や課題の確認などを行い、グループ全体の取組みを推進しています。

協議会の傘下には「気候変動ワーキンググループ」と「サステナブル経営推進連絡会」を配置し、個別課題の検討や、協議会での議論内容をふまえた情報共有・施策実行を進める体制を構築しています。

協議会で議論される内容はグループ最上位の執行会議体であるGlobal Executive Committee (Global ExCo)*、経営執行協議会(MAC)*に付議を行うなど、質の高い意思決定につなげています。また、Global ExCoやMACにおける議論の状況は、取締役会(事前説明会を含む)に報告されることで、監督の実効性を高めています。

*2024年4月以降はグループ執行会議

協議会における直近の協議・報告事項

活動・実績

2023年3月

- ESG課題を取り巻く国際情勢やNGOなどを含むネットゼロ団体の活動状況などをふまえた気候変動方針

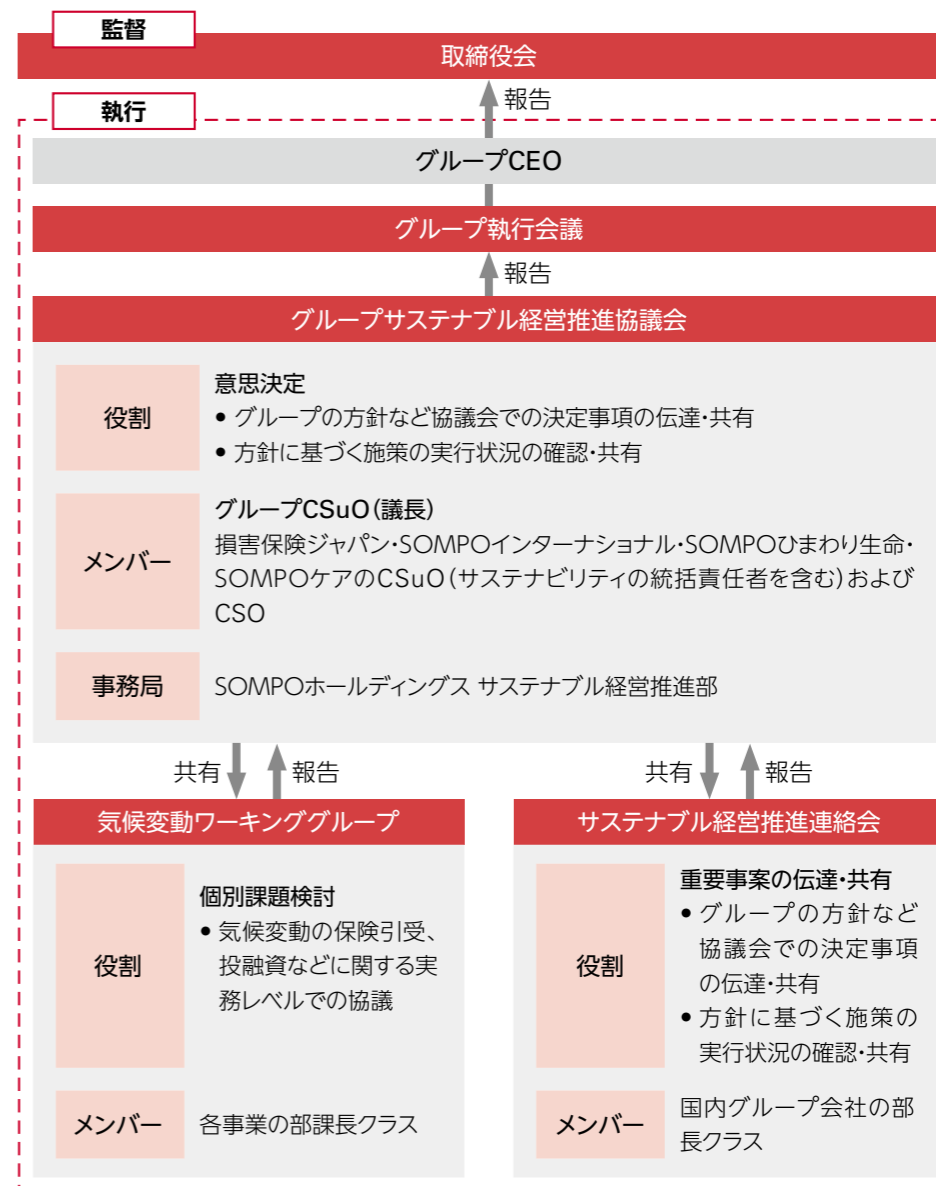
2023年8月

- SOMPO気候アクションでコミットした目標・指標の進捗および取組み状況
- マテリアリティKPI

2023年10月

- GHG削減に向けた2024年度以降の取組み方針(スコープ1~3、カテゴリー15(投融資含む))
- 保険引受におけるトランジション保険目標

体制図



※2024年4月以降の体制を記載(2024年2月29日時点)

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方
方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

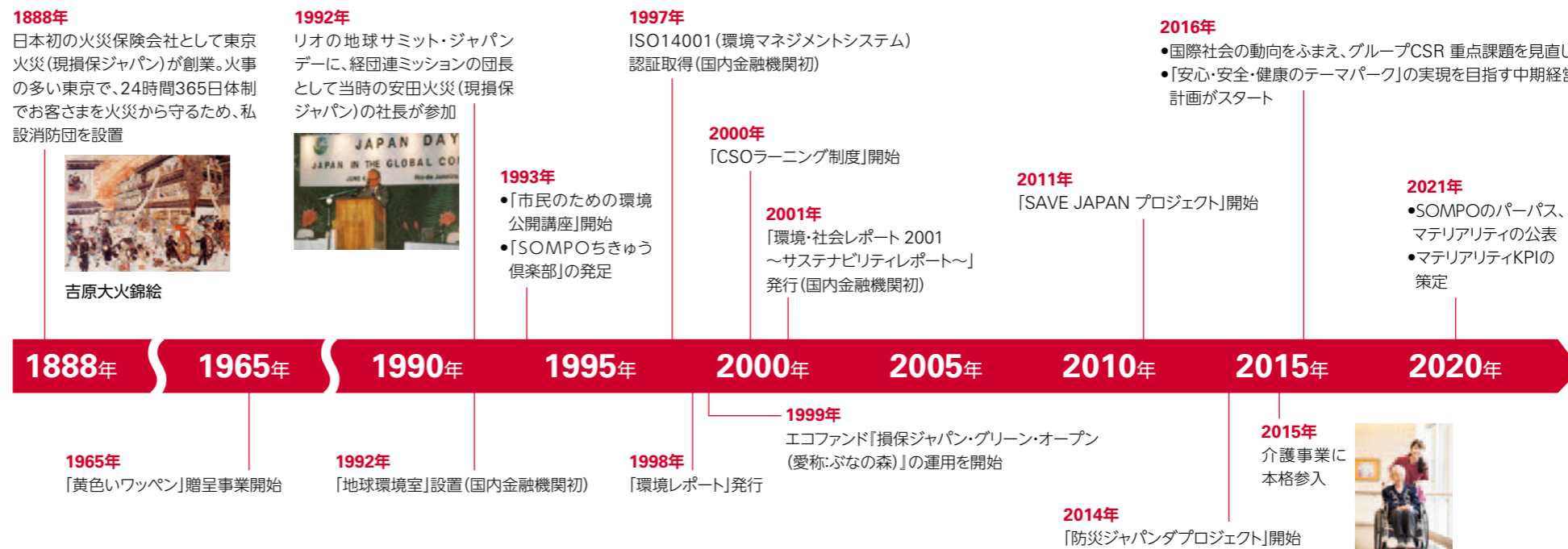
データ等

サステナビリティのあゆみと主な取組みのインパクト

活動・実績

当社グループの源流である東京火災は、1888年、「火災から人々を守る」という使命感から日本初の火災保険会社として誕生しました。人口減少や少子高齢化、気候変動、そしてテクノロジーの進化など、時代の変遷とともにサステナビリティの取組みを深化させてきました。現在までのサステナビリティのあゆみと主な取組みのインパクトをご紹介します。

SOMPOグループのサステナビリティのあゆみ



主な取組みのインパクト

黄色いワッペン贈呈事業

約**7,082**万枚
(2023年4月時点)

市民のための環境公開講座

参加者
累計 約**36,400**人
(2023年3月時点)

CSOラーニング制度

参加者
累計 **1,276**人
(2023年3月時点)

SAVE JAPAN プロジェクト

参加者
累計 約**61,000**人
(2023年3月時点)

防災ジャパンダプロジェクト

参加者
累計 約**77,000**人
(2023年3月時点)

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方
方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

ステークホルダー・エンゲージメント

活動・実績

当社グループの事業活動に影響を与える重要なステークホルダーは多種多様です。当社グループは、ステークホルダーとのコミュニケーションが、社会課題を認識し、信頼関係と協働関係を構築し、より大きな成果を生み出すための重要な取組みであると考え、「ステークホルダー・エンゲージメント」を重視しています。

ステークホルダー	取組み方針	主なコミュニケーション方法	主なコミュニケーションテーマ
お客さま	SOMPOホールディングスは、グループ経営理念に掲げる「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」をお客さまにご提供する態勢を整備することを支援し、お客さまに最も高く評価されるグループの実現に資するために「SOMPOグループ お客さまの声対応基本方針」を掲げています。グループ各社は事業特性などに応じたお客さまの声に係る収集・活用態勢の整備に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> • お客さま相談室、コールセンター • お客さまアンケート • ウェブサイトなどを通じた情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 保険金サービスの品質向上 • 商品・サービスの改善 • 当社グループの社員・代理店に関する要望
株主・投資家	適時・適切な情報開示により、株主・投資家の皆さまに当社グループの経営状況や各種取組状況を適切にご理解いただけるよう努めています。また、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話により得られたご意見などは、持続的な成長と企業価値の向上に向け、経営に活かしています。	<ul style="list-style-type: none"> • 株主総会 • 決算説明会、IRミーティング • 統合レポート、サステナビリティ・レポート、ウェブサイトを通じた情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 中長期的な会社の戦略 • 中期経営計画の達成状況 • パーパス経営の進捗 • 非財務領域における取組み状況
地域社会	事業活動が地域社会に与える影響を理解し、地域社会の要請に応える事業活動を行い、コミュニケーションすることで、地域社会との共生を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> • 社会貢献活動、ボランティア活動 • SAVE JAPAN プロジェクト • 地方自治体との連携協定 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域における防災・減災 • 環境課題への取組み • SDGs全般
代理店	ビジネスパートナーである代理店との信頼関係を大切にし、お客さまに満足していただける適切なアドバイスと十分なサービスを提供できるよう努めるとともに、相互発展するよう協力し合います。	<ul style="list-style-type: none"> • 保険専門代理店向け実態調査アンケートの実施 • 経営相談窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> • 保険商品および関連サービス • 中小企業などへの営業推進 • 代理店システム
NPO/NGO	各国のNPO/NGOとの対話と協業により社会的課題を把握するとともに、解決に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的なミーティング • アンケートの回答 	<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • 人権
取引先	取引先の皆さまと公正・公平な取引を行い、法令などを遵守するとともに、連携して社会的課題へ配慮します。	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的なサステナビリティ配慮依頼 • ウェブサイトなどを通じた情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 当社グループの環境やCSR調達の方針
従業員	従業員一人ひとりの「MYパーパス」を人的資本経営の土台と位置づけ、3つのコアバリューである、「ミッション・ドリブン」・「プロフェッソナリズム」・「ダイバーシティ&インクルージョン」を共有する人材集団の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> • 経営層と従業員のタウンホールミーティング • エンゲージメントサーベイ 	<ul style="list-style-type: none"> • 職場環境に対する満足度 • MYパーパス

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方
方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

イニシアティブへの参画

活動・実績

グローバルレベルの社会課題を解決するためには、さまざまな主体が連携して取り組むことが重要です。そこで、当社グループは、社会に対する宣言や、国内外のさまざまなイニシアティブに率先して参画し、主導的役割を担うよう努めています。

団体・イニシアティブ	概要	SOMPOグループの活動
国連グローバル・コンパクト (UNGC) 	企業などが責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な社会を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 2006年に署名 国連グローバル・コンパクト4分野・10原則(人権・労働・環境・腐敗防止)の実践状況と成果に関する報告書を毎年提出
女性のエンパワーメント原則 (WEPs) 	企業や民間団体が女性登用やエンパワーメントに取り組むための7つのステップを表している国際的な原則	<ul style="list-style-type: none"> 2012年に署名 2018年にSOMPOアセットマネジメントが署名
国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) 	金融機関から構成される持続可能な発展を目指す国際的なネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 1995年に署名
責任投資原則 (PRI) 	金融機関が投資の意思決定の際にESG(環境・社会・ガバナンス)課題に配慮することを求めた投資原則	<ul style="list-style-type: none"> 2006年に日本の保険会社として初めて署名 2012年にSOMPOアセットマネジメントが署名

団体・イニシアティブ	概要	SOMPOグループの活動
持続可能な保険原則 (PSI) 	保険会社が事業運営のなかでESG課題に配慮することを宣言	<ul style="list-style-type: none"> 2012年に署名 PSI主催の「TCFD保険ワーキンググループ」に参画
Glasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ) 	2050年までに温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す金融機関のグローバル連合	<ul style="list-style-type: none"> 2022年に加盟 当社グループが加盟するGFANZ傘下の団体 NZAQA(ネットゼロ・アセットオーナー・アライアンス) NZAM(ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ)
Partnership for Carbon Accounting Financials (PCAF) 	金融活動に関連する温室効果ガス排出量を測定および開示するためのアプローチの開発と導入に取り組む金融機関とパートナーで構成される世界的な業界主導のイニシアティブ	<ul style="list-style-type: none"> 2021年に加盟
持続可能な発展のための世界経済人会議 (WBCSD) 	持続可能な発展を目指す先進的な企業約200社が加盟するグローバルな組織	<ul style="list-style-type: none"> 1995年から参加 日本の金融機関で唯一のメンバー

編集方針

「サステナビリティレポート2023」の読み方

方針・ポリシー

目次

グループCSuOメッセージ

サステナビリティ

パーパス・マテリアリティ

サステナビリティ推進体制

サステナビリティのあゆみと

主な取組みのインパクト

ステークホルダー・エンゲージメント

イニシアティブへの参画

環境

社会

ガバナンス

データ等

イニシアティブへの参画

団体・イニシアティブ	概要	SOMPOグループの活動
<p>持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)</p> 	<p>持続可能な社会の形成のために、積極的な役割を果たす国内金融機関の行動指針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2011年にグループ10社(現6社)が署名 損害保険ジャパンが共同運営委員長と保険業務ワーキンググループ座長を、SOMPOアセットマネジメントが運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長を担う
<p>Climate Action100+</p> 	<p>責任投資原則(PRI)とアセットオーナー、運用機関による温室効果ガス排出量削減を効果的に推進することを旨とするイニシアティブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2018年にSOMPOアセットマネジメントが署名
<p>気候変動イニシアティブ(JCI)</p> 	<p>気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、団体、NGOなど、国家政府以外の多様な主体の情報発信や意見交換を強化するためのネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2018年から参加
<p>環境省 エコ・ファースト制度</p> 	<p>環境先進企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取組みを約束する制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2008年に損害保険業界で初めて認定を受ける
<p>気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)</p> 	<p>金融安定理事会(FSB)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2018年に賛同を表明

団体・イニシアティブ	概要	SOMPOグループの活動
<p>自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム</p> 	<p>TNFDは自然に関する企業のリスク管理と開示の枠組みを構築するために設立された国際組織。TNFDフォーラムはその構築を支援するために設立されたステークホルダー組織</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2021年に損害保険ジャパンが参加
<p>生物多様性のための30by30アライアンス</p> 	<p>2030年までに陸と海の30%以上を保全する国際目標「30by30」の達成に向け、OECD(自然共生サイト)登録推進に賛同する企業・自治体・団体の連合体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2022年に損害保険ジャパンが参加
<p>経団連生物多様性宣言イニシアティブ</p> 	<p>経団連生物多様性宣言・行動指針の複数の項目に取り組む、あるいは全体の趣旨に賛同する企業・団体によるイニシアティブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 損保ジャパンは、この前身である「経団連生物多様性宣言」推進パートナーズが2009年に開始した時から参加
<p>パートナーシップ構築宣言</p> 	<p>日本経済団体連合会・会長、日本商工会議所・会頭、日本労働組合総連合会・会長および関係大臣(内閣府・経済産業省・厚生労働省・農林水産省・国土交通省)をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設され、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者と連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築を目的とした宣言</p>	<ul style="list-style-type: none"> SOMPOグループでは、以下のグループ会社が宣言 SOMPOホールディングス 損害保険ジャパン SOMPOひまわり生命 SOMPOケア SOMPOヘルスサポート